

令和2年度 予算の概要

～レガシーと未来志向のステップアップ予算～

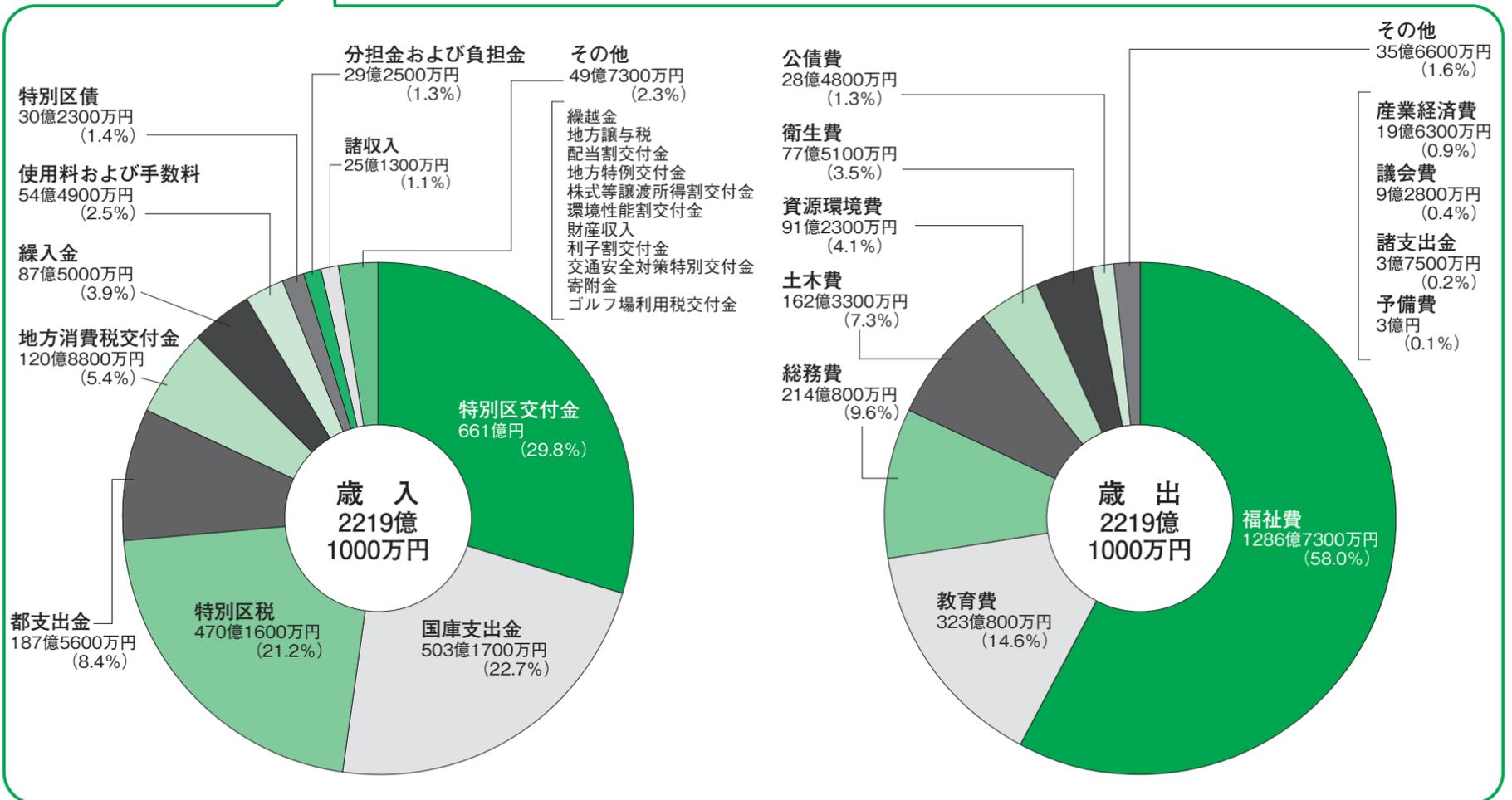
令和2年度は、「板橋区基本計画2025」および平成31年1月に策定した「いたばしNo.1実現プラン2021」の中間年であり、計画が示す目標に向かうステップとなる重要な年です。そのために、事業効果や必要性、効率性を検証し、事務事業を厳しく精査、見直しを行い、限られた経営資源の重点的かつ効果的な活用を図るとともに、自治体レベルでの取組みが期待されるSDGsの視点で事務事業の連携や改善を図ることができるよう予算編成を行いました。

一般会計

2219億1000万円
(2.6%増)

特別会計	国民健康保険事業	549億7000万円 (2.8%減)
	介護保険事業	438億2000万円 (5.8%増)
	後期高齢者医療事業	122億3100万円 (1.9%増)
	東武東上線連続立体化事業	1億2200万円 (510%増)

※伸び率は小数点以下第2位を四捨五入しています。



予算が議決されるまで

開会

予算上程・区長施政方針説明

予算案が議会に提出され、
区長が予算の説明を行います。

議決

再び本会議を開き、各会派による討論を行い、
予算案に賛成か反対かの意思決定を行います。
本会議で可決されると、予算が成立します。



閉会

委員会審査

予算審査特別委員会を開き、
予算案を専門的かつ詳しく審査します。



予算審査特別委員会の様子

